

【事務事業調査】

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業費		予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 001-03-02-01-
担当部課	教育部 子どもみらい課	担当 サブリーダー	児童福祉 担当 加藤 敦史	事業の分類 新規事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	<p>ファミリーサポートセンターは、子育ての援助をしたい人と、子育ての援助を受けたい人がお互いに会員になって助け合い、子どもたちの健やかな育ちを地域で支援していくための会員組織です。</p> <p>子育て支援センターれんげそう(にじいろ保育園併設)内にアドバイザー(担当職員)を配置し、センターを運営していきます。アドバイザーは、センターのPRと会員募集、協力会員の登録や研修、依頼会員への協力会員の紹介などを行います。</p> <p>まずファミリーサポートセンターの活動を定着させることが優先課題なので、PR活動を効率的に展開することを重視して、子育て支援センター内に設置し町が運営していきます。H23.10の運営開始を予定しています。</p>	<p>既存施設での一時預かり事業とは差別化し、保育園・幼稚園・学童クラブなどの送り迎えや、会員宅での預かりを行うことで、乳幼児を連れて出かけるにいきや病気が治っても集団生活までは無理なときなど、より細やかな子育て家庭のニーズに応えることができる事業です。</p> <p>この仕組みを登録会員の相互扶助により運営し、子どもたちの健やかな育ちを地域で援助していく気運を根付かせることが期待する成果です。</p>
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
年間サービス利用者数(延べ)	60件		<p>月10件のサービス利用が目標とする活動指標です。なお栃木県内(H22.9現在)では、9市2町がファミリーサポートセンターを設置しています。</p> <p>☆実績☆ H22: なし、H23: 10月から運営開始予定</p>

■事業費(計画)

【単位:千円】

番号	細 節	金 額	積 算 根 拠
1	賃金	1,978	臨時的任用職員@8,240円×月20日×12月
2	需用費	150	消耗品費(会員研修、事業PR用)、食糧費(会員交流会など)
3	役員費	100	手数料(会員用保険代)
4	備品購入費	300	業務用PC購入、専用キャビネット購入
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
		2,528	

■事業費(実績)

【単位:円】

番号	細 節	金 額	特 記 事 項
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
		0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	2,528		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金	1,000		次世代育成支援対策交付金
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	1,000		
	差引(一般財源)	1,528		